

平成28年度

花巻市行政評価委員会の評価結果に対する市の考え方

平成28年11月 花巻市

目 次

政策No.・政策名	施策No.・施策名	部会	ページ
1-1 農林業の振興	2 担い手の育成	しごと	1
	3 生産基盤の整備		3
1-4 観光の振興	1 観光の魅力向上		5
	3 移動しやすい観光地		7
2-1 環境の保全	2 自然環境の保全	暮らし	9
	4 循環型社会の構築		11
2-2 生活基盤の充実	2 公共交通の確保		13
	3 住宅の安定確保		15
3-2 学校の充実	1 学力・体力の向上	人づくり・ 地域づくり	17
	2 豊かな人間性の育成		20
4-1 参画・協働のまちづくり	1 市政への参画・協働機会の拡充		22
	2 公益的活動への支援		25
行政評価全般に対する評価について		全部会	29

施策名：担い手の育成

【しごと部会】

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<p>指摘事項なし</p>		
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →法人化支援については、これまでは法人化への支援が中心であったが、今後は、法人が安定して経営が持続できるように必要な労働力の確保等の支援へ重点を移すことが必要である。また、中山間地の支援等については、地域毎の不均衡を改善する方向に重点を移すことが必要である。 他に考えられる事業はないか。 →中山間地の条件不利地の有効活用のためにオーナー制度を活用するとか、先進地域の事例視察事業などを考えてほしい。さらに、農業の多面的な機能（農業者と非農業者の結びつきを強める、コミュニティの維持、環境保全）に着目した事業を展開してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する「担い手育成支援事業」において、農業経営の安定に向けた労働力確保のための取り組みを検討いたします。中山間地の支援として、平成28年度から「特定地域農地流動化交付金事業」（中山間地域の農地を借り受けた担い手に交付金を交付する事業）を創設し、中山間地域等条件不利地に対する不均衡の改善に取り組んでおります。 施策「農業生産の支援」の「中山間地域農業支援事業」（中山間直接支払制度により中山間地域等農業生産条件不利地域における集落協定に基づく農業生産活動を支援する交付金を交付する事業）に取り組んでいる中山間地域集落協定において、自ら先進地研修を行っておりますほか、先進事例、優良事例の情報を中山間地に提供しており、今後も継続してまいります。中山間地域等を対象とした「特定地域農地流動化交付金事業」の活用を進めるとともに、農業者と地域住民の共同活動等農村コミュニティの維持を支援している施策「農業生産の支援」の 	<p>農林部 農政課</p>

		「中山間地域農業支援事業」、施策「生産基盤の整備」の「農村環境保全事業」（農業者、非農業者が地域共同で農地、農業施設の維持管理や農村環境の保全活動、水路・農道等の長寿命化対策を実施する活動組織に交付金を交付する事業）の活用を推進いたします。	
③ 施策の総合的な評価 ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。	・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →課題や方向性は明確になっている。さらに、新しい方向性として、「産業としての農業」という側面は当然であるが、地域のコミュニティや環境を維持している農業という側面を考慮した事業を考えてほしい。	・農業者と地域住民の共同活動等農村コミュニティの維持を支援している施策「農業生産の支援」の「中山間地域農業支援事業」、施策「生産基盤の整備」の「農村環境保全事業」の活用を推進いたします。	
④ シート記載内容について ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。	指摘事項なし		

施策名：生産基盤の整備

【しごと部会】

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →沿っている。ただし、該当地区の水田整備が必ずしも単年度で完了するわけではないので、目標値や実績値を単年度ごとに示すことが必要か、という意見があった。 他に考えられる指標はないか。 →特になし。水田整備率については、「産業としての農業」を考えるとほぼ上限に達しつつある。そこで、今後は、既存の整備水田が新たに改修・改善された割合などの指標が必要となるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基盤整備事業は予算の状況等により単年度の事業量や完了年度が変更となっております。目標値の設定は、事業地区ごとの計画を積み上げており、目標値を単年度ごとに把握できるか関係機関と調整のうえ検討いたします。 地域で様々な軽微な改修改善等の取り組みがなされていることから、指標の設定や実績数値をとらえることが困難であるため、現行の指標を使用していくことを考えております。 	
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →畜産基盤強化事業、畜産競争力強化緊急整備事業はより支援すべきであり、花巻ブランドを作ってほしい。 他に考えられる事業はないか。 →中山間地では、条件不利地形であっても付加価値の高い作物を開発し、米ですすでに行われている地産地消のように、市場の開拓も含めた事業を行ってほしい。さらに、何十年も前に整備された水田について、更なる大規模化を進める事業もしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「畜産基盤強化事業」、「畜産競争力強化緊急整備事業」等、畜産経営の安定化に向けた事業の充実により良質な生産体制を構築し、ブランドの確立を推進いたします。 施策「農業生産の支援」において、中山間地域で作付されている雑穀等振興作物の生産、商品化等市場開拓についての支援を検討いたします。 過去に行われた小区画な基盤整備済み水田について、地域の意向を踏まえ、水田の大規模化の取り組みについて、関係者と一体になって推進いたします。 	<p>農林部 農村林務課</p>

<p>③ 施策の総合的な評価</p> <p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p>	<p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p> <p>→課題や方向性は明確になっている。 生産基盤の整備は今後も充実してほしいが、さらに、その生産が安定し、持続するためには、次世代の育成や労働力の確保（特に収穫期の）も必要である。</p>	<p>・意欲ある農業者や関係団体と連携し、生産基盤の整備を計画的に進めます。 農業生産を維持させるため、施策「農業生産の支援」、「担い手の育成」の事業により、意欲ある担い手を確保し、農業が生業として成り立つよう各種支援策を検討いたします。</p>	
<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>指摘事項なし</p>		

施策名：観光の魅力向上

【しごと部会】

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 ・目標値の設定は適切か。 ・他に考えられる指標はないか。 ・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →ほぼ沿っている。イベント等の年間来場者数を指標とすることに問題はないが、成果指標の達成状況に基づいて課題等を抽出する際には、来場者の属性（県内、県外）に関する数値や、年間ではなく月別または季節別の数値があれば、よりの確に分析できるのではないか、という指摘もあった。 ・他に考えられる指標はないか。 →来場者数の月別の数値があれば良い。 ・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 →観光の形態の変化（団体旅行から小規模旅行へ）、観光ニーズの変化（見て廻るから更に体験型へ）、観光地選択情報取得手段の変化（インターネット等の利用重視へ）についての分析が不十分である。市のPR情報提供の改善はあるが、上記に挙げた指標をもとにターゲット地域・層を絞ることができれば良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントごとや月別の観光客入込者数は把握しておりますが、県内・県外の別を把握することは困難です。今後においても、観光客ニーズに対応したイベント内容となるよう主催団体と調整しながら、集客効果をあげられるように努めます。 ・月別数値は補助資料として提示し、成果指標の設定については、現行どおり年間の数値を考えております。 ・観光統計数値のほか、今年度実施する観光客動態調査を基に、観光客ニーズや誘客宣伝を行うターゲットを定めて、より効果的な宣伝を行います。また、これまでの観光パンフレット等紙ベースの宣伝素材のほか、市ホームページをはじめ、SNS を有効に活用して花巻への誘客を図ります。 	<p>商工観光部 観光課</p>
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →二つの事務事業だけでは、観光形態の変化、観光ニーズの変化、観光地選択情報取得手段の変化等に十分対応できない。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か。 →二つの事業は貢献している。税金である補助金の 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光形態の変化や観光客ニーズの把握については、観光客動態調査結果を分析し、効果的な事務事業を検討します。なお、平成 28 年度から体験型観光メニューの充実に向けた事業を実施しております。 ・イベント間の連携が可能かどうか主催団体と協議するととも 	

<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<p>効率性も考えると、従来のイベントごとのいわば点支援からイベント間のネットワークを考えたいわば面への支援と視点を変化させる必要があると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に考えられる事業はないか。 <p>→祭りやイベントの主体である市民をフォロー、後継者を育成支援する事業、市のHPを通じた月別イベントカレンダーの作成等インターネット環境を充実させる事業、市の特産品（農産物、菓子類、民芸品など）、産業施設（工場見学、果樹園）と連携した体験型観光事業などが考えられる。</p>	<p>に、イベントがもたらす経済効果を意識して支援してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ等において、支援の有無に関わらず、イベント開催をお知らせできるように努めます。また、昨年度、近隣市町と共同で、工場見学などを紹介する「産業観光パンフレット」を作製したところですが、今後においても、市特産品や産業施設と連携した体験型観光について、関係団体と協議検討します。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 <p>→課題、方向性は問題ない。課題解決のための上記に挙げたような新たな事務事業を考えていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・（一社）花巻観光協会や市特産品、産業施設の関係者と協議検討するとともに、年々増加している外国人観光客の受入環境の整備と誘客促進にも取り組んでまいります。 	
<p>④ シート記載内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 	<p>指摘事項なし</p>		

施策名：移動しやすい観光地

【しごと部会】

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →沿っている。二次交通のバス等の利用は増えている。しかし、数値の大半が到着駅や空港から宿泊地（温泉）への移動であり、宿泊地（温泉）から観光地、観光地から観光地への移動割合についての調査は今後の課題である。 目標値の設定は適切か。 →適切である。ルート上にある観光地から観光地間の移動等の把握はこれで十分であるが、ルート上にない観光地から観光地間の移動等の把握は今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 花巻駅、新花巻駅と花巻温泉郷宿泊施設とを結び共同送迎バスは必要な二次交通であります。市内観光施設を周遊する「あったかいなはん花巻号」は、上期、下期のルート変更や神楽の日に合わせて「神楽号」の運行など、観光客ニーズに対応するよう工夫をしているものの、今年度行う観光客動態調査の結果を踏まえて、観光地から観光地への移動の需要を考慮し、交通機関等関係団体とも協議しながら検討してまいります。 	
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →なっている。「みちさき案内推進事業」は平成27年度に終了したので、新たな事務事業を考えていただきたい。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →特にない。むしろ、より積極的に関与すべきである。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →「観光ルート整備事業」は、さらに向上すべきである。これまでの主たるルートは、駅から宿泊地、 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の市内等移動について、有効な事務事業を検討します。なお、今年度、これまでに設置した観光施設等の案内看板をデータベース化し、今後、新設・変更・撤去を行うこととしております。 市が関与することで民業圧迫とならないよう交通機関等関係団体と協議して検討します。 観光ルート整備事業は、観光客ニーズに対応するために重要な事業であり、今後もルート設定については、交通機関等関係団 	<p>商工観光部 観光課</p>

	<p>宿泊地から主たる観光地が中心で、観光地から観光地のルートも新たに視野に入れてもらいたい。 また、宿泊地の大半は温泉地であるが、各温泉地の特徴なども含めてPRしてほしい。</p> <p>・他に考えられる事業はないか。 →この事業の対象は、温泉から観光地が主である。しかし、近場からきて市内観光する観光客も存在し、そのような観光客に対する事業も考えてほしい。花巻市内の名品、地場産品をめぐるルートの開発（その際には、アンケートなどで若い人の感性を利用）をする事業等。</p>	<p>体とも協議、調整して検討します。</p> <p>・観光客動態調査の結果を基に、近隣市町村との連携を含め、観光客ニーズに対応したルート設定を検討します。</p>	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p>	<p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →課題の指摘と方向性の把握はその通りである。この事業は、観光業の発展を通じて地域の活性化にもつながるもので、重要である。したがって、利用者ニーズを反映した方向性という指摘にもあるように、温泉地から市内観光地を主とする観光客、市内観光地間移動を主とする観光客など、ターゲット別の対応を考えていただきたい。</p>	<p>・観光ルート整備事業は、観光客ニーズに対応するために重要な事業であり、観光客動態調査の結果を基に、観光客ニーズに対応したルート設定となるよう交通機関等関係団体とも協議、調整して検討します。</p>	
<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>指摘事項なし</p>		

施策名：自然環境の保全

【暮らし部会】

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての確かな分析を行っているか。 	<p>指摘事項なし</p>		
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →「自然環境保全活動推進事業」という事業名だが、内容は早池峰山関係のみとなっている。今後も内容が変わらないのであれば、事業名はわかりやすいものが良い。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →環境保全に関する周知をもっと進めるべき。 その他 →ハヤブサの生誕 80 年記念事業において「実施計画がおくれたことから事業実施の告知が遅れた」とのことだが、あってはならないこと。 →河原の坊施設管理事業の活動指標が「総合休憩所開館日数」となっているが、シーズン中は開館しているのがあたり前では。「関連施設の点検回数」 	<ul style="list-style-type: none"> 「（仮称）早池峰山周辺環境保全活動推進事業」と改めるよう検討いたします。 市ホームページなどを活用しながら、本市の現状を広く広報するとともに、市の環境施策や環境情報をタイムリーにわかりやすく提供できるよう工夫してまいります。 事務の適切な進行管理により、事業効果を最大限に発現するよう努めます。 総合休憩所は、岩手県からの委託事業により市が管理受託している施設であり、岩手県の委託日数が減っている現状にあることから、シーズン中の開館日数が増えるよう岩手県に要望しな 	<p>市民生活部 生活環境課</p>

	や「関連施設の修繕件数」が良いのではないか。	がら進めます。	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p>	<p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p> <p>→早池峰山の環境保全やゼニタナゴの保全に取り組んでいるが、市内には他にも自然はある。もっと広く目を向けてもいいのではないか。</p> <p>→自然を守ることだけでなく、自然を豊かにすることも必要。この考え方を多くの市民に広めることも必要。</p>	<p>・国の特別天然記念物（早池峰山高山植物帯）や県の天然記念物（花巻矢沢地域のゼニタナゴ生息地）に指定されているものの保護に取り組んでおりますが、今後とも豊かな自然を守るため、花巻にあった人と自然の共生のあり方を考えながら、保全活動を進めます。</p> <p>・本市の豊かな自然を次世代に継承するためには、市民・事業者・市がそれぞれの役割を果たしながら、協働で取り組んでいく必要があります。そのために、本市の環境情報を分かりやすく・的確に発信するとともに、自然とのふれあいや環境学習を推進します。</p>	
<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	指摘事項なし		

施策名：循環型社会の構築

【暮らし部会】

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 他に考えられる指標はないか <p>→店頭でリサイクル回収しているスーパーなどの店舗数、回収量などが考えられる。(把握可能であれば)</p>	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル率の向上に向けた取り組みとして資源ごみの店頭回収についても重要であると認識しておりますことから、市内の小売店等における店頭回収の実態把握を行いながら、指標として設定できるか検討いたします。 	<p>市民生活部 生活環境課</p>
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 <p>→「ごみの排出量」については、生ゴミの水切りを周知徹底することで少しでも改善されるのではないかと。また、水切りの周知だけでなく、買いすぎ抑制(の周知)に取り組むことも重要ではないかと。</p> <p>→市民への周知方法を検討する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生ゴミの水切りについては、家庭から排出される可燃ごみの減量に効果があるものと認識しております。 <p>現在、市内の100世帯を対象に生ゴミ水切り器を配布し、水切りによる減量効果を検証するモニター調査を実施中であり、調査終了後には減量効果等について結果を公表する予定としております。結果公表と併せて、水切りによる生ゴミ減量の啓発及び食料品の買いすぎの抑制についても周知を図ることとしております。</p> <ul style="list-style-type: none"> 周知の方法については、広報紙及びHPのほか、出前講座での説明等、地道な対応を継続しながら周知を図ります。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確 	<p>指摘事項なし</p>		

<p>になっているか。</p>			
<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p> <p>→成果指標設定時に、県と北上市の数値を参考としているが、もっとほかの自治体のデータも示してほしい。</p> <p>(クリーンセンター利用構成市町のデータはあってほしい)。</p>	<p>・中部広域でのごみ処理を進めておりますことから、県のほか、岩手中部広域行政組合の構成市町である北上市、遠野市、西和賀町の数値も参考にいたします。</p>	

施策名：公共交通の確保

【暮らし部会】

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 他に考えられる指標はないか。 <p>→バス、飛行機の利用人数はあるが、他に鉄道の利用者数や、市民から見た空港の利便性の向上に関する指標が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 <p>→公共交通の実際の利用者の満足度を図ることができればよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「鉄道の利用者数」を施策の成果指標とすることについては、鉄道事業が民間事業者（JR 東日本）の事業であり、その運行について市が関与できる余地がほとんどないこと、駅前広場等の日常的な維持管理事業では指標の動向に影響を与えるような成果までは期待できないことを鑑み、施策の成果指標とすることは適切ではないと考えます。鉄道利用者数に影響を与えるようなハード整備・公共交通の接続等を計画する場合は、同数値を成果指標に加えることを検討してまいります。 公共交通の実際の利用者の満足度を図るためには、乗降場所に出向いてのアンケート依頼やバス等に同乗しての聞き取り調査等が考えられます。同調査を定期的にかつ継続して実施するためには、一定の経費又は人的対応が必要となることから、効率的で効果的な調査方法を検討し、可能であれば取り入れていきたいと考えております。 空港に関しては年間乗降客数のほか、利便性を図る数値には路線数や便数、又は利用者アンケートによる満足度などが考えられますが、指標設定にあたっては、関係機関との協議のうえ、可能であれば取り入れていきたいと考えております。 	<p>建設部 都市政策課</p>
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 市民ニーズや社会情勢の変化により、 	<p>指摘事項なし</p>		

<p>市の関与の必要性が低下した事業はないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 • 他に考えられる事業はないか。 			
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> • 施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<p>指摘事項なし</p>		
<p>④ シート記載内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 <p>→用語の統一が必要と思われる。(デマンドバス、乗り合いバス等)</p> <p>また、用語が浸透するまでは用語の説明が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ご指摘のとおり名称の統一が必要であると考えております。今年度導入を予定しております当日予約対応型の新たなデマンド交通の導入に合わせて、利用者の方が、わかりやすく、親しみやすい名称に変更・統一します。 	

施策名：住宅の安定確保

【暮らし部会】

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 <p>→耐震化率の向上にかかる分析について、向上理由の分析があまい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本来であれば、昭和56年以前（建築基準法改正前）の住宅に特定した件数把握を行い母数とし、そのうえで新たな建て替えや耐震改修等の件数を把握し子数とした分析とすべきですが、現実的には昭和56年以前の建物に限り件数把握をすることは困難です。成果指標の達成状況については、今後も適正な分析の方法について検討いたします。 	<p>建設部 都市政策課</p>
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 <p>→施策の課題解決に対する事務事業が少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施策の課題解決に対応する新たな事務事業について検討を進めます。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確 	<ul style="list-style-type: none"> 施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確 		

<p>になっているか。</p>	<p>→人口減少に伴う、市営住宅需要について把握し、新規・改修計画等に反映させていく必要がある。 →空き家問題の深刻化を各々の課題とした方がよい。また、それを今後の方向性へ反映させるべきである。</p>	<p>・人口減少に伴う市営住宅の需要について検討を行い、新規・改修計画等に反映させてまいります。 ・空き家問題は重要な課題と認識しており、追加検討を進めます。</p>	
<p>④ シート記載内容について ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →構成する事務事業の直結度がわかりづらい。</p>	<p>・記載内容について、わかりやすい構成、表示となるよう努めます。</p>	

施策名：学力・体力の向上

【人づくり・地域づくり部会】

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 ・目標値の設定は適切か。 ・他に考えられる指標はないか。 ・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は、試作の目指す姿に沿っているか。 →いずれも行政による取り組みの成果指標として、目指す姿に沿っている。ただし、この施策の目指す姿の実現には、後述するように行政以外による取り組みも重要である。 ・目標値の設定は適切か。 →学力の目標値設定は適切である。ただし、体力の目標値については、体力・運動能力の低下傾向の現状を考慮し、水準の見直しが必要である。 ・他に考えられる指標はないか。 →児童・生徒が「いきいきと」学力や体力の向上に取り組むためには、「学習定着度調査」や「体力・運動能力調査」による客観的な値だけではなく、児童・生徒が意欲を持って（楽しみながら）学力や体力の向上に取り組んでいるかどうかを確認することも重要である。 ・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 →施策評価シートの記述は行政による取り組みの分析のみにとどまっており、十分ではない。施策の目指す姿の実現における家庭や地域社会などの行政外部の状況についても視野に入れる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力や体力の向上については、各小・中学校や家庭、地域社会の取り組みも重要であることから、目指す姿の実現にあたっては、成果指標の達成に加え、協働で取り組む視点を大切にしていまいます。 ・体力の目標値については、基準年度（H25）の実績をもとに、さらに高い水準を目指して設定いたしました。特に中学校で高い水準で設定していますので、その水準を維持する方向で考えてまいります。また、小学校についてもより現状に即した水準を検討いたします。 ・児童・生徒が意欲をもって学習や運動に取り組むことにより、客観的な数値が向上していくものととらえております。したがって、各小・中学校においては、単に学力の向上や体力・運動能力の向上のみを目指すのではなく、関心・意欲・態度を大切に学習活動を展開するよう、学校訪問等を通して確認し、指導してまいります。 ・上述した通り、本指標の達成のために必要な要素（行政以外）の取り組みも重要であることから、今後において、幅広い分析を進めてまいります。各小・中学校で取り組んでいる「いわて型コミュニティスクール」（明確な達成目標を掲げ、家庭・地域と協働する開放的で個性的な学校づくりをすること）におけ 	<p>教育部 小中学校課</p>

		<p>る「学びフェスト」(各校で設定している具体的な達成目標)の評価等と連動を図るなど、工夫してまいります。</p>	
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 • 目指す姿の実現に貢献している事業か。 • 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 • 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 • 他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →過剰なものはないが、以下のように不足しているものがある。 • 目施策の目指す姿を実現するためにさらに成果の向上を図る事業はないか。 →学力向上推進事業(学力向上支援)の模範授業・講義の取り組みは、受講者数や開催数を拡大し、より多くの教員が模範的な教育に触れられるようにする必要がある。また、1 時限あたりの授業時間を長くし、児童・生徒が考える時間を確保することも、考える力を養う点で学力向上に資すると考える。 • 他に考えられる事業はないか。 →施策評価シートの「施策の基本情報：現状と課題」において、「基礎的な知識・技能を活用する力の育成が十分でない」「食生活や生活習慣の変化により、肥満傾向の児童生徒の割合が若干増加傾向」との指摘があるものの、現状ではこれらの課題に対応する事業がない。基礎基本の活用に関する事業、および食育指導に関する事業が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> • 予算化されていない事務事業や、県事業等で本施策に密接に関わるものが展開されておりますが、構成事業として記述されていないことから、左記の評価をいただいたと考えます。 • 県費負担教職員である小・中学校の教諭等の研修は、任命権者である県が行うこととなっており、さまざまな研修の機会があります。当市で行っている学力向上推進事業はそれを補完する役割を担っています。また、教育研究所事業の一環として、研究指定校による学校公開研究会など、市独自で教員研修の場を設定しておりますから、これらを充実させてまいります。 なお、1 時限あたりの授業時間は学校教育法施行規則によって定められております(小学校45分、中学校50分)ことから、単元(学習内容のまとまり)を通した授業計画を工夫し、児童・生徒が考える力を養う指導を目指します。 • 各校で共通化している指導過程の中に、確実に「基礎的な知識・技能を活用する授業展開」を位置づけるよう徹底を図ります。 具体的には、1 単位時間または1 単元の指導過程を工夫し、活用、定着の場を設定する授業が展開できるよう指導してまいります。また、食育指導に関しては、特別活動や家庭科(中学校では技術・家庭科)の授業の中で、栄養教諭等を活用した食に関する指導が行われております。これに合わせ、肥満傾向にあ 	

		<p>る児童・生徒への保健指導（進んで運動する態度の育成や食事指導等）を保護者と連携して確実に実施するなど、日常の指導を充実させてまいります。</p>	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p>	<p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。</p> <p>→（課題）の1つ目の項目は何か課題なのかが不明確である。また（課題）の2つ目の項目は課題だけでなくその解決の大まかな手法にまで言及している。加えて（課題）の3つ目の項目では体力向上の取り組みの必要性に言及しているにもかかわらず、（今後の方向性）では具体的な取り組み内容が示されていない。</p>	<p>・（課題）と（今後の方向性）について、ご指摘を踏まえて施策評価シートを修正いたします。</p> <p>課題1つ目については、「花巻市学力向上アクションプラン」について述べましたが、本プランの策定にあたって掲げたより具体的な課題として、①小学校での学力維持と中学校での学力向上、②諸調査における目標設定と教員相互の授業参観、③子供が主体となる授業の実践、④家庭学習のための時間確保、を追記します。</p> <p>課題2つ目については1つ目の①～④のうち、重点的に改善が必要な課題ですが、今後の方向性にまで言及しているのはご指摘の通りですので、今後の方向性に移行します。</p> <p>課題3つ目の体力向上に向けての具体的な取り組みとしては、県事業として行われている各種研修事業への積極的な参加を奨励するとともに、体力向上実践事業の実践校を新たに3校選定（H28は桜台小、湯本小、亀ヶ森小）し、その取り組みを支援するとともに、実践校における成果を発信してまいります。</p>	
<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>指摘事項なし</p>		

施策名：豊かな人間性の育成

【人づくり・地域づくり部会】

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 目標値の設定は適切か。 他に考えられる指標はないか。 成果指標の達成状況についての確かな分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標値の設定は適切か。 →いずれの指標も実績値は高い水準にあると考えられるので、目標値は更なる増加を目指すよりも、現状維持が適切である。 他に考えられる指標はないか。 →施策の目指す姿にある「郷土を誇り」としているかどうかに関する指標が必要である。 成果指標の達成状況についての確かな分析を行っているか。 →指標推移の分析が裏づけのない主観的なものを根拠にしており、的確とは言い難い。また、施策の目指す姿の実現の上で重要な役割を持つ家庭の現状や、いじめ・不登校などの成果指標では見えない部分についても背景・要因に含まれておらず、効果的な施策推進につながる分析になっているとは言い難い。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての児童生徒に「自己肯定感」や「親切・思いやりの気持ち」を育むことを目指しておりますが、現状を踏まえ、目標値の見直しを検討いたします。 地域行事に積極的に参加している児童生徒の割合や、生徒会ボランティア活動をとおして地域に貢献している中学生の割合は高く、郷土を愛し誇りに感じている児童生徒が育っていると認識しておりますが、それらを測定する指標の設定について検討いたします。 成果指標の達成状況につきましては、様々な要因を踏まえ総合的に記述しておりますが、児童生徒の家庭環境や生活環境等、より客観的なデータ等をもとに具体的に明記するよう努めます。 	<p>教育部 小中学校課</p>
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 目指す姿の実現に貢献している事業か。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →不足している（下記参照）。 他に考えられる事業はないか。 →郷土に対する誇りを持ってもらうための事業が無く、小中学生に市民憲章への理解を深めてもらう取り組みが必要である。また、「成果指標の達成状況 	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校では、本施策に関わる教育活動が行われておりますが、構成事業として記述されていないことから、左記の評価をいただいたものと考えます。 各小中学校では、花巻市教育委員会作成の副読本等を活用し、郷土の文化や先人の業績に対する理解を深め、市民憲章の啓発を含め、郷土に対する誇りや愛情を育む教育が行われておりま 	

<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<p>況」で触れられている「学校や家庭で自分の良さを発見させる指導がまだ十分でない」ことに対する対策も必要である。</p>	<p>す。また、自己肯定感や自己有用感を高める指導としては、各小中学校ではPTA等と連携し、「家庭教育学級」（保護者を対象とした子育てに関する研修講座）等の活動が実践されています。なお、平成28年度からは「学校地域連携事業」（湯口小中および矢沢小）を開始し、学校が地域と一体となって教育活動を進める取り組みが展開されており、今後も学校教育の中で、「児童生徒が、郷土を誇りとし、自己肯定感や思いやりの気持ちを高める教育」が展開されるよう指導してまいります。</p>	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 <p>→記載内容が「特別の教科 道徳」の全面実施に向けた教員対象の研修に関する（課題）と（今後の方向性）だけになっている。現在の9つの事務事業に関する（課題）と（今後の方向性）に全く触れておらず、施策の総合的な評価とは言い難い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9つの事務事業については、おおむね施策の目指す姿の実現に向け効果的に実施されているととらえておりますが、自己肯定感を持った児童生徒の割合が比較的低い結果となっています。また、児童生徒が郷土に誇りを持てるような事業も展開しておりますが、それを図る指標が設定されていないことも課題として指摘されております。以上を踏まえ、今後において、構成事務事業や指標のあり方を検討いたします。 	
<p>④ シート記載内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 <p>→施策評価シート「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績」の記載順と、「4 施策を構成する事務事業一覧」の記載順が一致しておらず、施策の中でどのような内容の事業が行われ、それがどのような成果をあげているのかが把握しにくい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策評価シート「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績」の記載順と、「4 施策を構成する事務事業一覧」の記載順の不一致につきましては、ご指摘の通りですので、施策評価シートを修正いたします。 	

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 ・目標値の設定は適切か。 ・他に考えられる指標はないか。 ・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →参画に関する指標のみで、協働に関する指標がない。協働の指標は、市民アンケート G-3《協働のまちづくり》が妥当である（政策 4-2 の成果指標と重複で構わない）。 ・目標値の設定は適切か。 →目標値を増やしていく方向性自体は適切である。ただし、参加の裾野を広げるのであれば、市民全体の目標値だけではなく、市民アンケートのクロス集計で値が低い人達の目標値も必要である。 ・他に考えられる指標はないか。 →市民アンケートの性別・年齢別などのクロス集計も指標に含めれば、全体の底上げをはかる際にどこに重点を置けばよいかも明らかになる。また、市民アンケートは「主観」的な評価であるので、ハガキやメールの件数などの、実際の行動に関する「客観」的な指標も必要である。 ・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 →施策評価シートでは、平成 26 年と平成 27 年で「市政へ意見を述べる機会の確保」の指標が目標値を上回った背景の説明が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の中期プランの見直しに合わせ、ご指摘いただいた内容を参考に成果指標の追加、見直しを検討いたします。 ・市民が積極的に市政に関わることができるよう、市政へ意見を述べる機会の確保は重要であり、市政への参画・協働機会の拡充を測る指標として市民全体の目標値を成果指標とすることは適切であると考えております。 ・市民アンケートのクロス集計については、指標として追加しませんが、分析を行った上で事業や施策の推進に努めてまいります。ハガキやメールについては、内容が建設的なものばかりではなく、苦情も多いことから、件数を目標値に設定することは難しいと考えます。市政への参画機会としては市政懇談会や市長との対話もあることから、広聴事業への市民参加行動を客観的な指標として追加することを検討いたします。 ・クロス集計の結果では、年代が上がるほど「市政へ意見を述べる機会が確保されている」と思う、どちらかというと思う割合は増加傾向にあり、前述の市長との対話や市政懇談会の参加者の年代層とも合致することから、分析は妥当であると考えております。 	<p>総合政策部 地域づくり課</p>

<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 ・他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 <p>→協働に関する取り組みが不足している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 <p>→「参画の少ない住民層を主な対象に協働に関する取り組みを増やし、成果の向上を図る必要がある。また、市民の市政参画や協働の成果向上を図る上で、市民参画・協働推進委員会の機能が現状では弱い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に考えられる事業はないか。 <p>→市民に市政への参画や協働の行動を起こしてもらうには、その前段階として市政への関心を高めてもらう必要がある。そのためには市長選挙や市議会選挙などの投票率向上の取り組みや、コミュニティ会議に一般市民が参加しやすくなるような工夫など、本施策の取り組みだけではなく、他の施策の取り組みとの連携も重要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信などにより、市民と市との協働について市民の理解を深めるとともに、コミュニティ会議や企業等との協働を推進してまいります。 ・市民参画・協働推進委員会の調査及び審議事項にあるとおり、今後の委員会においては「市民参画と協働に関する事項」の調査や審議に取り組んでまいります。 ・市政に関心を持って積極的に関わっていただけるよう、市政の課題などについてわかりやすく情報提供するとともに、次期中期プランの策定の中で新たな事業も検討しながら、市の各部署においても市民との協働を推進してまいります。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 <p>→施策評価シートの（課題）の内容と（今後の方向性）の内容が対応しておらず、問題点や課題が十分整理されているとは言えない。また、市民の立場で見ると、課題に記載されている問題点は捉え方が甘い。今後の方向性の内容が具体性に乏しく、具体的な工夫の内容を明記する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の目標値は達成しているものの、市民参画の手法などについては、現在ワークショップの手法に取り組んでおり、今後もより市民が参画しやすくなるよう工夫してまいります。 	

<p>④ シート記載内容について</p> <p>・施策の取り組み実績や事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p>	<p>・施策の取り組み実績や事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。</p> <p>→ヒアリングの際、施策評価シートの書面に書かれていないものの、重要と思われる取り組みの話が出たことから、施策評価シートでは、参画や協働に関する取り組みが十分に記載されていないと考える。特にゼロ予算で知恵と工夫で取り組んでいることがあるのであれば、評価シートに記載すべきである</p>	<p>・事務事業評価シート中事業概要欄に下記事項を追加いたします。</p> <p> 広聴の事業の実施 市政懇談会の開催 まちづくり懇談会の開催 市長との対話の開催 要望や陳情の受付 市長へのハガキやメールの受付</p>	
---	---	--	--

施策名：公益的活動への支援

【人づくり・地域づくり部会】

評価項目	指摘事項	市の考え方	担当部課名
<p>① 成果指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 ・目標値の設定は適切か。 ・他に考えられる指標はないか。 ・成果指標の達成状況についての確な分析を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →成果指標以前に、行政と市民の間で、施策名の「公益的活動」や、まちづくり市民アンケートの設問文の「ボランティア団体」「NPO 法人」の言葉の定義を共有できておらず、施策の目指す姿自体を共有できていない。「地域づくりの活動」も公益的活動に含めれば、ボランティアや NPO の活動に参加する市民はもっと多いと考えられる。地域づくりの活動を含まない現状の成果指標は、市民が「公益的活動」という言葉からイメージする目指す姿に沿っていない。 市民のボランティアや NPO への参加を、地域づくりに関するもの（政策4-1）とそれ以外（政策4-2）の2つに分ける目的（行政として何を指すのか）について市民の理解が必要がある。現状の施策の設定が市民から見て分かりやすいものになっていない（1つにまとめても良いのではないか）。 ・目標値の設定は適切か。 →ボランティアや NPO への市民の参加を少しずつ増やす方向性は適切であるが、数年間参加が伸びていない現状を考慮すれば、目標値を現状に合わせて見直す必要がある。 ・他に考えられる指標はないか。 →施策名を踏まえれば、「市民団体等活動支援事業」の活動指標である「補助事業を活用した市民団体等数」も施策の指標に含める必要がある。また、公益 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア団体」「NPO 法人」の言葉の定義を共有できていないことはご指摘のとおりでありますことから、次期中期プラン策定の際には、市民から見てわかりやすいような施策となるよう検討してまいります。 ・目標値の見直しについて検討いたします。 ・事業を推進する上では補助事業を活用した市民団体等の数を増やす努力が必要と考えます。他の指標の必要性については検討してまいります。 	<p>総合政策部 地域づくり課</p>

	<p>的活動の活発化を目指すのであれば、活動が停滞している団体の掘り起こしの件数も施策の実績に含めるべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 成果指標の達成状況についての確かな分析を行っているか。 <p>→成果指標の伸び悩みの原因を市の施策や事業（市民団体等活動支援事業の周知不足）だけに求めるのは分析として不十分である。市内の中間支援団体の活動が停滞していることなど、市の取り組み以外の要素にも目配りする必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 市民活動ネットワーク協議会などとの懇談の場を設けるなど、市内の中間支援団体の活動が停滞している要因についての分析を図ってまいります。 	
<p>② 施策を構成する事務事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 • 目指す姿の実現に貢献している事業か。 • 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 • 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 • 他に考えられる事業はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 <p>→不足している。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 目指す姿の実現に貢献している事業か。 <p>→現状の2つの事業は貢献している部分もあるものの、これだけでは不足である。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 <p>→ない。ただし、市民団体等活動支援事業の本来の目的が市民団体等の育成にあることを踏まえれば、各団体の単発の活動への補助となっている現状のあり方は、本来の目的に沿うように見直していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 <p>→市民団体等活動支援事業については、本当に支援を必要とする（資金不足等で活動が停滞しているなど）団体の掘り起こしが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 現状の2事業は、資金不足等で活動が停滞している市民活動団体等の事業を支援することにより、市民の公益的活動機会を増やすための事業ではありますが、市との協働をさらに推進することが必要であると考えますので、次期プランの策定においては新たな事業も検討してまいります。 • 本来の目的に沿う補助を必要とする団体の掘り起こしに努めてまいります。 • 市民活動ネットワーク協議会などとの懇談を設けるなどし、団体の掘り起こしに努めてまいります。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・他に考えられる事業はないか。 <p>→支援を要する団体の掘り起こしに関して、「ボランティア団体や NPO 法人の総会の席上でのアピール」のほかにも、たとえば総合支所単位での市民団体対象の説明会の開催が考えられる。また現在活動が停滞している中間支援団体の育成やテコ入れも必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を広く周知する観点からも、ご提案のありました「総合支所単位での説明会」は有効であると考えられますことから、開催に向け取り組んでまいります。 	
<p>③ 施策の総合的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 <p>→この施策の目指す姿は、この施策の事業だけで実現できる訳ではない。目指す姿の実現に向けて、他の手段の活用も視野に入れた問題点や課題の洗い出しが必要と考える（「地域おこし協力隊」の活用、中間支援団体のテコ入れなど）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿の実現のため、問題点や課題の洗い出しに努めてまいります。 	
<p>④ シート記載内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 <p>→公益活動への市民参加を増やす目標があるのであれば、たとえば「市民団体等活動支援事業一覧」には交付額や事業内容だけではなく、参加人数の情報も必要である。また、支援を要する団体の掘り起こしが必要なのであれば、市内の市民団体等の一覧も必要と考える。</p> <p>→「市民団体等活動支援事業」の事務事業評価シートの公平性の評価の○印の位置とコメントの内容が適切でない。制度の周知不足は潜在的な対象者に受益機会を十分与えていないことを意味しており、「受益機会の見直し余地がある」に○を付けるのが妥当である。また、現状のように受益機会を十分与えな</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民団体等活動支援事業一覧」の記載においては、参加人数の情報も加えることとします。また、対象となる団体を掘り起こすため、庁内各課で市民団体の把握を行います。 ・事務事業評価シートの作成については今後記載を改めます。 	

	くても交付要綱に基づく補助は可能であるため、「交付要綱に基づく補助金であり適正である」とのコメントは、受益と負担の適正化についての現状評価のコメントとして適切でない。		
--	---	--	--

行政評価全般に対する評価

【行政評価全般】

評価項目	施策名	指摘事項	市の考え方	担当部課名
		<ul style="list-style-type: none"> 評価の全体像や前年までとの変更点などを把握して評価に臨めるよう、年度初めの委員会でその年の評価方針や重点部分等を十分に示してほしい。また、前年の問題点や課題がどう見直しされてきたのかを示していただくと、施策の実施状況や意見の反映状況が確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度の委員会開催時には、評価の仕方、前年との変更点を説明し、前年の見直し内容などの関連資料を提示いたします。 	総合政策部 秘書政策課
		<ul style="list-style-type: none"> 評価作業に入る前に評価方法を事前学習する機会を設けると、評価の精度や内容をもう少し充実させることができたのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価の事前学習機会につきましては、委員会の開催回数の増加等が考えられることから、委員の皆様のご意見を参考に検討してまいります。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 評価対象施策を決定する際、委員の希望を採用しているが、希望制では評価対象とならないものも出てしまう。3, 4年のサイクルで全ての施策が必ず評価の対象となるような進め方をしていく必要があるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価対象施策を選定する際は委員より希望をとっておりますが、前年、前々年は重複することがないように配慮しており、今後も同様に進めてまいります。市では毎年すべての施策について職員による内部評価を行っております。外部評価は、市が実施した評価が適正に行われているかを判断していただく場と捉えており、毎年いくつかの施策を抽出して確認していただくことで、行政評価が実施されているものと考えております。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 今年度は72施策中、12施策を評価させていただいたが、残り60施策について外部評価をしないことについて、市民に対する説明が必要ではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 上述したとおり、外部評価は、市が実施した評価が適正に行われているかを判断していただく場と捉えており、毎年いくつかの施策を抽出して確認していただくことで、行政評価が実施されているものと考えております。 	

		か。	また、行政評価につきましては、これまでと同様、市民の皆様に対し市ホームページ等を通じて公表してまいります。
		<ul style="list-style-type: none"> 花巻市まちづくり総合計画はしごと、暮らし、人づくり、地域づくり、行政経営の5つの分野に区分されているが、行政経営分野が外部評価対象から外れている説明がない。しごと、暮らし、人づくり、地域づくり分野を各政策における具体的なアプリケーションと考えれば、行政経営分野はオペレーションシステムのようなものだろうと思うが、これを評価対象としなくて良いものか。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画の推進にあたっては、市民と市の将来都市像や目指す姿を共有し、協働して取り組んでいくこととしており、中期プランでは、掲げる政策・施策の目指す姿の実現に向けて具体的な目標となる項目とその水準をわかりやすく示し、取り組みの成果を把握していくために成果指標を設定しております。一方、行政経営分野は市が行う行政サービスの提供や職員の人材育成、財政経営等、市自らが担う分野でありますことから、施策の成果指標を設定していないところです。このため、他分野の施策のような数値目標による評価を行わないため、外部評価の対象としておりません。
		<ul style="list-style-type: none"> 「行政評価に関する提言」をするためには、前年等の資料を提示していただくことで、より建設的な意見を述べることができるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度からは前年の評価資料を提示いたします。